

手順（おおよその流れ）

固定：出来るだけ生体内にあるときの状態に近いまま形態を保存する。



パラフィン包埋 ①：薄切のために臓器に強度を持たせる。



薄切 ②③④：スライドに貼り付けるために数 μm に薄く切る。

（光が透過するような薄さにすることで顕微鏡観察が可能になる。）



染色 ⑤：臓器の細胞の状態をわかりやすくする為に色付けをする。



封入：標本表面が傷つかないようにカバーガラスで蓋をする。